

平成 2 5 年度

決 算 報 告 書

自：平成 2 5 年 4 月 1 日

至：平成 2 6 年 3 月 3 1 日

国立大学法人京都教育大学

平成25年度 決算報告書

国立大学法人京都教育大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,573	3,452	△ 122	(注1)
施設整備費補助金	791	845	53	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	506	505	△ 1	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	22	22	-	
自己収入	1,224	1,214	△ 10	
授業料、入学科及び検定料収入	1,160	1,145	△ 15	(注4)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	64	69	5	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	142	153	11	(注6)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	28	30	2	(注7)
出資金	-	-	-	
計	6,287	6,221	△ 66	
支出				
業務費	4,815	4,656	△ 158	
教育研究経費	4,815	4,656	△ 158	(注8)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	813	867	53	(注9)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	506	505	△ 1	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	142	161	19	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	11	11	-	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	6,287	6,200	△ 87	
収入-支出	-	21	21	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、平成24年度補正予算を執行したことによる収益化額の増にかかわらず、業務達成基準が適用された学内プロジェクトについて収益化が繰り延べられたこと、退職手当の減少により収益化額が少額となったこと等により、予算額に比して決算額が122百万円少額となっています。
- (注2) 平成24年度補正予算を執行したことにより、予算額に比して決算額が53百万円多額となっています。
- (注3) 当初予定よりも交付額が減少したことにより、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。
- (注4) 在学者の減、入学者の増、受験生の減により、予算額と比して15百万円少額となっています。
- (注5) 科学研究費補助金間接経費収入等の増により、予算額と比して5百万円多額となっています。
- (注6) 受託事業の増加、寄附金の受入増などにより、予算額と比して11百万円多額となっています。
- (注7) 新たに承認された平成24年度目的積立金を執行したことにより、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注8) 退職者の減などにより、予算額に比して、158百万円少額となっています。
- (注9) (注2)と同様の理由で、予算額と比して53百万円多額となっています。
- (注10) (注3)と同様の理由で、予算額と比して1百万円少額となっています。
- (注11) 受託事業の増加、当初の想定よりも寄附金の執行が増加したことにより、予算額と比して19百万円多額となっています。